

May 2018

### 終末リバイバルの使命を全うする

すべてのことについて感謝しなさい。これがキリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。(第一テサロニケ5：18)

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

(ローマ人への手紙8：28)

代表

エルサレム杉澤

当ミッション主催「感謝と賛美とリバイバルキャンプ」が今年も3月26日～3月31日の日程で米国ロサンゼルスに日本から34名のチームと現地8名の参加を含め総勢42名で行われました。



このキャンプは毎年のイスラエルツアーと同様に、どなたでも参加できるキャンプです。主から「感謝と賛美」は終末リバイバルの使命を全うするうえで、重要なポイントを持つことを再三、語られるなかで特別に重要な意味合いを持って派遣されました。

このキャンプは2013年11月に召天された世界的な「感謝と賛美」の器、マーリン・キャロザーズ師から感謝と賛美のセミナーを受けることを目的に始まりました。特に「マーリン師を偲ぶ会」では召天前の最後の感謝と賛美のセミナー「一人が百万人をキリストに導く」を主題としたセミナーを映像で振り返り、霊的に引き上げられ、深められる貴重なひと時となりました。また、20世紀初頭に始まった始めの雨のアズサ街リバイバルの発祥の地「ボニーブレアハウス」での祈り込み、ハリウッドで行われる賛美グループの路上ライブ等々、多彩な内容のプログラムで行われました。また、毎朝、毎晩、聖会が行われるなか、現地スタッフの音楽セミナーやブラックゴスペル界の重鎮ドクター・スティーブ率いる一行より、参加した賛美グループが日本のオリジナル賛美で講評を受ける特別プログラム「ゴスペル・ショーケース」も行われました。本格的な終末リバイバルの働きにおいて「感謝と賛美」を土台としていくうえで重要な派遣となりました。

イスラエルに収穫のための初めの雨と後の雨があるように、これから激しい迫害と困難な厳しい黙示録時代の幕開けとも始まる再臨直前の後の雨の終末リバイバルにおいて、感謝と賛美を土台に更に徹底して主に祈り聞き従って、働きの使命、世界規模の魂の大収穫の働きを全うして、主の圧倒的な勝利と栄光、約束の成就を見ていきましょう。